

上郷西地区 社会福祉協議会

# 第44号 社協だより

発行

平成26年 10月 1日

発行責任者

上郷西地区 社会福祉協議会

発行 塚本 忠志

045-891-0981

(編集者 川上 利雄)

## 平成26年度 敬老の集い

9月15日(月) 敬老の日 午後2時から上郷中学校体育館において、上郷西地区社会福祉協議会主催、上郷西連合町会後援の「敬老の集い」が437名のご招待者を迎え、盛大に開催されました。



### 式典

上郷西地区社会福祉協議会会長・塚本忠志が主催者を代表してご挨拶をし、その後、ご参列いただいた来賓の皆様からお祝いのお言葉をいただきました。

その中で、尾仲富士夫栄区区長からは、この地区は高齢者の比率が高いにも関わらず介護保険の利用者が少なく元気な地区なので、これからも皆様がますますお元気であることを祈念いたしますとの励ましのお言葉がありました。日浦美智江栄区社会福祉協議会会長からは、高齢者は「教育」→「今日行く」、「教養」→「今日用事がある」でなければならないとの印象あるお言葉をいただきました。

壇上挨拶の来賓者・関係者



尾仲横浜栄区  
区長



日浦栄区社協  
会長



小林シニアクラブ  
連合会会長



赤堀地区社協  
副会長



谷山地区社協  
常任理事



司会 原田さん

主催者 上郷西地区社会福祉協議会 塚本会長の挨拶

塚本会長



皆様、残暑が残る中ようこそ多数敬老の集いにご出席下さいましてありがとうございます。  
 昨年は予期せぬ台風の接近で「敬老の集い」は残念ながら中止させて頂きました、その分本年はこのあとの「お楽しみ会」を存分お楽しみ下さい。

本年は、日本各地で大きな災害が発生しております、私たちの住むこの地域でも自然災害が発生しないとは言えません、その時のためにも、地域の皆様が連携して災害に備えることが必要です。

現在、上郷西地区では本日ご来賓でご出席の西連合町会会長の新保様を中心に各町内会・自治会会長の皆様、この地域で活動している各種団体代表の皆様や若い世代の方々と社協が連携し、ご来賓でご出席の行政の皆様のアドバイスを頂きながら「上郷西地区の未来をみんなで考える意見交換会」の活動をスタート致しました。

今後具体的なテーマや活動内容が決まりましたらぜひ本日ご出席の皆様もご参加頂いて「安心・安全で住んで楽しい、魅力ある街づくり」に取り組んでいきましょう。

お楽しみ会

司会 増田さん



●上郷中学校吹奏楽部(33名)

コンクールで金賞を受賞した実力をいかんなく発揮しました。  
 オープニング「故郷」で始まり、時代劇スペシャル、演歌メドレーと続き、アンコールには「学園天国」で応えてくれました。



●上郷小学校特別合唱クラブ

23名によるアカペラの合唱がすごく印象的でした。透明感のある声が、皆に清涼感を与えてくれました。  
 ピアノとの協奏も感動しました。



## ●ペブルビーズ(バンド演奏)

敬老の集いにふさわしいバンドの登場でした。何と年齢が67, 68歳の高校生時代のクラス仲間で結成された9名のバンドです。演奏曲もご招待者が青春時代に親しんだ歌でしたので自然に合唱となりました。特に青春時代は感動ものでした。

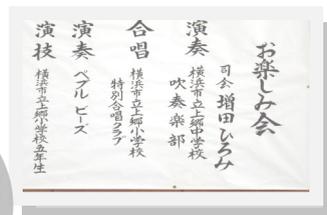


## ●上郷小学校 五年生有志(51名)

お馴染みの「上郷ソーラン2014」を、舞台とフロアにわかれ、元気に力強く踊りました。



## ●会場雑景



## 第3期(平成28年～32年)栄区地域福祉保健計画

上郷西地区では「上郷西地区支え合い・つながるプラン推進会議」が母体となって、取り組んでいきます。【～子どもたちの未来のために～みんなで考えましょう】を主題とし、そのための意見交換会の第1回を、平成26年8月23日(土) 野七里地域ケアプラザで開催しました。地域から35名、行政・地域ケアプラザから12名が参加し3グループに分かれ活発な討議が行われました。

第2回開催は平成26年9月30日(火) 桂台地域ケアプラザで開催されます、第1回で多岐にわたって出された提言や意見をどう具現化するかの意見交換の場となります。

上郷西地区の皆様ぜひ注目して頂き、「私達の住み慣れた町で、安心して暮らしていくための」具体策を一緒に考えましょう!

上郷西地区社会福祉協議会  
会長 塚本 忠志

## 福祉講座（認知症を正しく理解して（支えあう社会に））

去る8月29日、野七里地域ケアプラザにて、認知症の講座を開催しました。

講師の田村さんは、「認知症は特別な病気ではない。地域の暖かい視線、居場所づくりが大切」をテーマに話されました。

具体的な対応としては「早期発見」「早期診断」「早期治療」が大切です。残念なことに受診を拒否する方が多いので、積極的な受診を心掛けてください。

また、介護体験一家族の思い・認知症の人の思いを、具体的に話されました。

このことで、受講者は認知症を正しく理解し地域で穏やかに暮らし続ける為に、自助努力をし、協力者は役割と努力が必要と痛切に感じました。

受講者から田村さんに多くの質疑があり、盛況のうち講座を終えました。

（担当 張戸）

（田村さん紹介：認知症の人と家族の会の神奈川県支部世話人をやられています）



## 11月の催し

### 福祉講座 大地震に備える 揺れたら 身の安全 確保

最新の防災情報を把握し、備えを万全にしておけば、二次災害、三次災害は防げます。

日時：11月4日（火）13:00～15:00

会場：桂台地域ケアプラザ（2F）

参加費：100円

募集人員：50名（要予約・どなたでも参加できます）

協力：つながるプラン推進会議

お申し込みとお問い合わせは

張戸：☎ 894-3538

原田：☎ 892-3065

## 秋のつぶやき

2007年夏、自分用のパソコンを買いました。エクセルを使い、会計処理がとて楽になりました。その後事務局の仕事・資料づくりを楽しくすることができました。今、見回すと、サロン、3Aプログラム、敬老の集い、地域福祉保健計画と私の作品(?)が目につきます。そしてパソコンの空き領域がなくなりつつあります。独学ながらパソコン操作は上手になりました。でも基本を知らないために陥った穴です。さあ新しいパソコンを買うか、仕事を減らすか・・・パソコンもそれを使う人も疲れてきたようです。2年越しの敬老の集いを無事に終え、まとめの資料づくりをしながら、思い、また文章を書いています。

（宮地）



## 編集後記

敬老の集いを、主催者側の常任理事になり、初めててつだうことになりました。このような役職に就く前は、祝日行事のため自治体からの押し付けの催しだと思っていました。

いざ、中に入ると、まったく認識不足でした。社会福祉協議会主催で、多くの協力団体が手伝い、手作りの行事である。本当にお年寄りを心から敬っているから、皆、協力できるんだろうと思いました。今回も小、中学生から、会場作りのボランティアなど多くの人達に支えられ行事が無事済んだことを感謝せずにはいられません。上郷西地区に住んでおられる人達の手作り行事である認識を広めたいと思います。

（編集者：川上）